

人間社会学科(1年・自己形成概論) 合同公開授業
都市環境学科(1年・都市環境入門)

「世界を拓げる、自分が広がる～海外生活から見えること～」

概要

大学時代は行動の範囲も拓がり、目を外に向けて関心の輪を広げる絶好の機会です。この時期にどれだけ自分の世界を大きくし、知識経験の量や幅を拓げられるかが、その後の人生を大きく変えていきます。

このシリーズ講義(全3回)は、人間社会学科、都市環境学科の新入生を主な対象とし、一連の講義を通して自分の知らない世界に対する興味関心を喚起し、これからの4年間の大学生活を有意義で意欲的なものとするための基礎的な心構えを養うことを目的としています。

海外経験を有する教員、学生を講師とし、世界各国の様子やその国と日本とがどのように関わり合っているのか、世界で生活するとはどのようなことか、海外経験から得られる人間的成長とはどのようなものか、といった観点から、体験談を交えながら講じます。

【日 時】 (人間社会学科「自己形成概論」、都市環境学科「都市環境入門」の時間)

第1回 4月22日(月曜日2講目)

梶谷 崇 准教授 「東アジアは動いている –韓国滞在で見えてきた世界–」

第2回 4月30日(火曜日2講目:月曜授業振替)

細川 和彦 准教授 「『志』は一つでは多すぎる！」

石井 力義くん(都市環境学科4年)「たった一步踏み出す勇気で世界が変わる」

第3回 5月13日(月曜日2講目)

中島 寿宏 講師 「教員としてのポーランド、アメリカ、そして日本」

【会 場】 5106(合同講義室)

【コーディネーター】 碓山恵子(人間社会学科)

【対 象】 人間社会学科1年生、都市環境学科1年生、
その他希望する学生・教職員など100名程度

講義内容

- ・各国事情:各国の日常生活などを事例としてあげつつ、世界もしくは日本とどのように関わっているのか、また我々の日常生活との接点について、大学1年生のレベルで興味関心を喚起する。
- ・自己形成:海外経験が自分自身にとってどのような経験であったのか。それによって得られた視野の拓がりや行動力、積極性など、その後の人生に与えた影響について、大学1年生の立場に立って(共感を得られるよう)語り、学生の自己成長に対するモチベーションアップを促す。

※「自己形成概論」「都市環境入門」の受講生には毎回講義レポートの提出を課す。